

国際婦人デー3・5東京集会に寄せられたメッセージ

世界労働組合連盟からのメッセージ

団結し闘い続ける！ 女性も男性も解放された搾取のない自由な社会を築くまで

世界労働組合連盟書記局

階級的労働組合組織であり、全世界五大陸の一三三か国で生活し、働き、そして闘っている一億五〇〇万人の労働者を代表する世界労働組合連盟（世界労連）は、国際婦人デー3・5東京集会に国際主義者として連帯を表明します。二〇二二国際婦人デー東京集会は、こんにち、日本の女性たちおよび労働者たちが直面している数多くの困難や課題を抱えながらも、〈活動家集団 思想運動〉と本郷文化フォーラムワーカーズスクール（HOWS）が共同で組織し開催します。

いま、日本では、貧困と不平等が大衆層に影響を与え、民主主義的な労働組合の自由が攻撃され、人びとはパンデミックの第六波とそれによる社会的・経済的影響に直面しています。そして、憲法改悪と軍拡の動きが急速に進行しています。この状況のなかで、今年の国際婦人デーを祝う集会を、二〇二二年三月五日に開催されることはきわめて重要な活動です。

一六五年前、ニューヨークで女性労働者たちは、より良い労働条件、平等、権利ある生活を要求して立ちあがりました。それらの闘いは、いまなお継続し、トピックとなり、時代を越え闘い続けられています。今年、一六五年後のいま、わたしたちは、彼女たちの闘いとその犠牲に敬意を表し、頭を高くあげ、労働者階級の旗・平等・連帯・尊厳を高く掲げ、闘いを続けていきます。

国際的な階級的労働組合運動は、一貫して、二重の搾取と闘う女性たちとともに、職場・社会・生活における平等な権利を要求し闘ってきました。そして、労働者階級全体が、いまの時代を生きていくのに必要なことをカバーできるようにするために闘っています。

わたしたちは、平等な教育、平等な仕事の機会、そして同一の仕事に対する平等な賃金を要求して闘います。わたしたちは、いまだに出産時に死亡する女性たちが存在することをなくすために、科学技術を活用していくよう闘志あふれた進取の精神を強めていきます。わたしたちは、戦争、人身売買、貧困、賃金・給付の削減、国家の社会福祉の縮小と闘います。

二〇二二年五月六日・七日・八日に、イタリアのローマで、第一八回世界労働組合大会を開催します。この大会に向け、世界労働組合連盟と全世界の戦闘的な階級的労働組合はいっしょに声を合わせ、世界労連の隊列をより大きくし、不平等と搾取の根本原因である帝国主義の野蛮に対する闘いとその闘いへの流れを拡大させていきます。わたしたちは、団結し闘い続けていきます！ わたしたちが、いま生きる時代に必要なことを満たすために。女性も男性も解放された搾取のない自由な社会を築くまで。

働く女性たち、万歳。

労働者階級、万歳。

二〇二二年三月五日、アテネ

【訳＝三田博】

『思想運動』1075号 2022年4月1日号